

県民協働型自然共生手づくり事業
「セツブンソウ自生地保存活動」

☆日 時：平成21年8月24日（月） 10:00～13:00

☆場 所：岩国市錦町

☆参加者数：40人

☆主催者：錦町観光協会

1 スケジュール

- 10:00～ 開会行事
10:10～12:00 保全活動（草刈作業・電気柵、侵入防止柵の設置）
12:00～12:30 昼食
12:30～13:00 セツブンソウについて
参加者意見交換会

2 活動内容

自生地及び周辺の草刈、枝打ち、柵の設置等の保全活動とセツブンソウの保護と公開についての意見交換会を実施しました。



主催者代表 白井氏より「貴重な自然を後世に残すために作業を実施する」とあいさつがありました。

【活動内容】

作業行程の説明を受け、草刈や枝打ちをするグループ、イノシシ侵入防止用の電気柵等の設置をするグループの2班に分けられました。

電気柵・侵入防止柵の設置





太陽光から電気を作ります



電気柵の外側に侵入防止柵を設置します

草刈作業の様子



熱心な活動で作業は順調に進みました

【学習および意見交換会】

自生地近くの公会堂において、主催者等のあいさつ、参加者自己紹介で始まりました。セツブンソウを発見した経緯等の説明をしました。



説明をする村上氏

村上氏から、セツブンソウについての話等の説明を受けました。

公開の是非について、また公開する場合はどのような対策をすべきかの意見を出しました。主催団体は保存会を結成して公開し、セツブンソウと共生する街づくりを考えたいと意見を述べました。

咲くべき場所に咲いている花の気持ちがわかる私達でいたいですね。